



2020年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月2日

上場会社名 カネコ種苗株式会社

上場取引所 東

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門、コンプライアンス・IT推進担当 (氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 2019年10月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	13,490	0.8	275	15.1	319	9.7	217	8.1
2019年5月期第1四半期	13,598	1.4	324	6.1	353	4.8	236	1.4

(注)包括利益 2020年5月期第1四半期 194百万円 (26.1%) 2019年5月期第1四半期 262百万円 (0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	18.52	
2019年5月期第1四半期	20.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	40,214	19,613	48.8	1,670.75
2019年5月期	45,526	19,619	43.1	1,671.22

(参考)自己資本 2020年5月期第1四半期 19,613百万円 2019年5月期 19,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		11.00		17.00	28.00
2020年5月期					
2020年5月期(予想)		11.00		17.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	59,500	1.5	1,800	0.8	1,900	0.0	1,350	5.1	115.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年5月期1Q	11,772,626 株	2019年5月期	11,772,626 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年5月期1Q	33,337 株	2019年5月期	33,327 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期1Q	11,739,296 株	2019年5月期1Q	11,740,069 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年6月1日～2019年8月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境は引き続き改善し、企業収益は高い水準で推移しているものの、米中貿易摩擦問題や中国経済の先行き不安等が影を落とし、製造業を中心に企業の業況判断は慎重さを増している状況となりました。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、今夏前半は日照不足、後半は猛暑となるなど農作物の作柄不安定要因が頻発し、直近では、台風の襲来が千葉県を中心に農業へも大きな被害をもたらすなど、マイナス面が多々見られる状況となっております。

このような状況のなか当社グループの業績は、種苗事業や施設材事業が低迷するなどして、売上高134億90百万円で前年同期比1億7百万円（0.8%）の減収となり、利益面でも、営業利益2億75百万円で前年同期比49百万円（15.1%）減、経常利益3億19百万円で前年同期比34百万円（9.7%）減、親会社株主に帰属する四半期純利益2億17百万円で前年同期比19百万円（8.1%）減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度第4四半期より、花き事業と農材事業に係る物流費用の配賦方法を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の配賦方法で算出した数値と比較しております。詳細は、P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）Ⅱ当第1四半期連結累計期間3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

種苗事業

種苗事業においては、野菜種子の輸出関係でカボチャの販売増があったものの、タマネギ・キャベツ・ニンジン販売減などにより、売上高19億80百万円で前年同期比1.8%の減収となりました。利益面でも、セグメント利益3億16百万円で前年同期比22.9%減となりました。

花き事業

花き事業においては、家庭園芸資材の需要低迷や、大手チェーン店の資本業務提携に伴い販売ルートが他社へ移ったこと、また、プライベートブランド化による販売減などにより、売上高14億51百万円で前年同期比2.6%の減収となりました。利益面では、経費節減に努めたことなどから、セグメント損失71百万円（前年同四半期のセグメント損失は77百万円）で損失は縮小いたしました。

農材事業

農材事業においては、害虫の発生が少なかったことによる殺虫剤の販売低迷や、焼酎原料用サツマイモの減産により土壌消毒剤の需要が減少したものの、除草作業の軽減に効果的な茎葉除草剤が、高齢化や省力化志向に伴い需要が拡大したことや、オリジナル被覆肥料の販売伸長により、売上高68億94百万円で前年同期比0.9%の増収となり、利益面でも、セグメント利益1億69百万円で前年同期比45.1%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、初夏の低温・日照不足に伴い遮光・灌水資材が販売減となり、養液栽培プラント関係でも受注が減少したことから、売上高31億63百万円で前年同期比2.9%の減収となり、利益面でも、セグメント利益51百万円で前年同期比18.8%減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、402億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して53億12百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、206億円となり、前連結会計年度末と比較して53億6百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

なお、上記「資産の部」と「負債の部」の状況は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期ほぼ同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、196億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して微減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月12日の「2019年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,906,928	2,200,521
受取手形及び売掛金	21,731,978	19,206,992
商品	8,203,837	7,292,604
その他	1,501,244	2,229,110
貸倒引当金	△22,075	△19,095
流動資産合計	36,321,912	30,910,134
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,953,976	4,220,872
その他(純額)	2,477,664	2,329,742
有形固定資産合計	6,431,641	6,550,615
無形固定資産		
	81,771	79,905
投資その他の資産		
その他	2,699,902	2,682,812
貸倒引当金	△8,911	△9,251
投資その他の資産合計	2,690,990	2,673,561
固定資産合計	9,204,403	9,304,082
資産合計	45,526,315	40,214,216
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,593,327	14,898,182
短期借入金	—	2,829,933
未払法人税等	309,674	121,899
その他	1,279,621	1,038,114
流動負債合計	24,182,623	18,888,130
固定負債		
退職給付に係る負債	1,401,062	1,397,469
役員退職慰労引当金	113,650	—
その他	209,907	315,042
固定負債合計	1,724,619	1,712,512
負債合計	25,907,242	20,600,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	15,810,824	15,828,709
自己株式	△24,318	△24,331
株主資本合計	19,042,997	19,060,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693,164	664,669
為替換算調整勘定	△46,304	△46,304
退職給付に係る調整累計額	△70,948	△65,842
その他の包括利益累計額合計	575,911	552,522
非支配株主持分	163	181
純資産合計	19,619,072	19,613,573
負債純資産合計	45,526,315	40,214,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	13,598,342	13,490,439
売上原価	11,388,413	11,327,635
売上総利益	2,209,929	2,162,803
販売費及び一般管理費	1,885,146	1,887,167
営業利益	324,783	275,635
営業外収益		
受取配当金	16,921	18,689
受取家賃	15,716	17,606
受取保険金	—	11,761
その他	7,004	5,122
営業外収益合計	39,642	53,179
営業外費用		
支払利息	5,269	5,158
為替差損	4,890	3,579
その他	486	656
営業外費用合計	10,646	9,395
経常利益	353,779	319,419
特別利益		
固定資産売却益	—	4,365
特別利益合計	—	4,365
特別損失		
固定資産処分損	4,375	1,550
特別損失合計	4,375	1,550
税金等調整前四半期純利益	349,404	322,234
法人税等	112,911	104,763
四半期純利益	236,493	217,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,493	217,453

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	236,493	217,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,735	△28,495
為替換算調整勘定	3,288	—
退職給付に係る調整額	8,031	5,106
その他の包括利益合計	26,055	△23,389
四半期包括利益	262,548	194,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,548	194,063
非支配株主に係る四半期包括利益	—	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年6月1日 至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,016,740	1,491,047	6,831,152	3,259,402	13,598,342
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,759	507	—	1,564	16,831
計	2,031,500	1,491,554	6,831,152	3,260,967	13,615,174
セグメント利益又は損失(△)	410,556	△77,213	117,002	63,062	513,408

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	513,408
全社費用(注)	△188,625
四半期連結損益計算書の営業利益	324,783

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日 至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,980,512	1,451,549	6,894,746	3,163,630	13,490,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,674	566	6	373	14,621
計	1,994,187	1,452,115	6,894,753	3,164,003	13,505,060
セグメント利益又は損失(△)	316,559	△71,938	169,773	51,184	465,579

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	465,579
全社費用(注)	△189,943
四半期連結損益計算書の営業利益	275,635

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメント費用の配賦方法の見直し)

前連結会計年度第4四半期より、セグメント別の損益をより適切に反映させるため、花き事業と農材事業に係る物流費用の配賦方法の見直しを行いました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、見直し後の配賦方法に基づいて作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。